

#### IV. 埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会の記録

## 平成20年度 埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会について

### 1 目的

埋蔵文化財に対する理解を深め、郷土に残された先人の歴史を考え、文化財保護意識の向上を図ることを目的に開催する。本展示会では愛知県内の発掘調査成果を基に、平易な歴史展示を実施する。

### 2 主催

愛知県教育委員会

稲沢市教育委員会

(財)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

### 3 埋蔵文化財展

#### 1) 会場：稲沢市荻須記念美術館

稲沢市稲沢町前田365番地8(0587-23-3300)

#### 2) 日時：平成20年10月18日(土)

～平成20年11月16日(日)

午前9時30分～午後5時

休館日

10月20日(月)・10月27日(月)

11月4日(火)・11月5日(水)

#### 3) タイトル：

「A.D.775巨大台風 尾張国府・国分寺を襲う

一瓦が語る尾張の国プロジェクト

尾張国中島郡の古代災害史をひも解く」

### 4 埋蔵文化財講演会(参加自由)

#### 1) 会場：稲沢市総合文化センターホール

稲沢市国府宮三丁目1番1-101号

#### 2) 日時：平成20年11月2日(日)午後2時～4時

#### 3) 講師：早川万年 岐阜大学教授

#### 4) 演題：「風水害と古代社会」

### 5 事業の内容について

#### 埋蔵文化財展

#### 1) 瓦が語る尾張国プロジェクト 尾張国中島郡の古代災害史をひも解く

稲沢市域を中心とした考古学資料に、尾張国府・国分寺成立までの歴史について、「災害」といキーワードを基にした展示解説。大きく弥生時代と奈良・平安時代の2つの時代を取り扱った。

なお展示準備および解説、ペーパークラフトの案内等に、25名の市民ボランティアの方々の協力を得た。

#### 2) 平成19年度 新出土品展

平成19年度に稲沢市教育委員会や愛知県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した遺跡について、出土資料と作業風景など写真やパネルなどを用いて展示・紹介。

展示遺跡：御山寺遺跡、町屋遺跡、朝日遺跡、桑下城跡、薬師ヶ根遺跡、寄島遺跡、東中田A遺跡、滝町遺跡

#### 埋蔵文化財講演会

早川万年(岐阜大学教授)による「風水害と古代社会」と題する講演を開催した。

講演は、続日本紀などの文献資料にみられる災害の記録を読み解いてゆく内容であった。参加者は115名。

#### 埋蔵文化財講座

会場：稲沢市荻須記念美術館 会議室

・講座1 日時：平成20年10月19日(日)午後1時30分～4時

内容：調査成果の報告

長野北浦遺跡、塔の越遺跡、一色青海遺跡(稲沢市)、御山寺遺跡(岩倉市)ほか

講師：愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員

・講座2 日時：平成20年11月16日(日)午後1時30分～4時

内容：「尾張国分寺とその時代を考える」

講師：梶原義実(名古屋大学講師)、北條献示(稲沢市教育委員会)、城ヶ谷和広(愛知県埋蔵文化財センター調査課長)

#### 埋文ワークショップ

会場：稲沢市荻須記念美術館

日時：平成20年10月19日・11月9日(日)

午前11時から約40分

講師：愛知県埋蔵文化財センター職員

内容：稲沢市一色青海遺跡ほかの発掘調査の 슬라이ドをまじえた展示解説。およびオリジナル土器ペーパークラフトの作成。

参加者：計40名



埋蔵文化財講演会



ポスター



埋蔵文化財講座 1



埋蔵文化財講座 2



桑下城跡 「菊花双鶴鏡」



展示準備風景



展示解説パンフレット



埋文展展示パネル



埋文展展示パネル

## 尾張国の災害と飢饉

- 713 11. 1 尾張・三河国などで風雪。
- 726 12.24 尾張国で飢饉。
- 762 3.29 三河・尾張など9か国に日照りの被害。  
4.14 尾張国で飢饉。  
6. 3 尾張国で飢饉。  
763 6. 7 尾張国で飢饉。  
9.21 尾張国など6か国に凶作。
- 765 3.16 尾張・三河などの諸国で飢饉。
- 767 1.28 尾張国で飢饉。  
769 8. 9 尾張国海部・中島二郡に洪水。  
9. 8 洪水により鷗沼川(木曾川)の河道が変化し、尾張の桑葉・中島・海部の三郡が被害を受けた。尾張国の申し出により、土木工事を指導する技術者(解工使)が都から派遣され、河道復旧工事をすることが許された。
- 772 9.20 尾張国で飢饉。  
773 2. 7 尾張・志摩二か国で飢饉。  
774 2.30 尾張国で飢饉。  
7.21 尾張国で飢饉。
- 775 8.22 伊勢・尾張・美濃国の三か国が異常な風雨により、300人あまりの人々と、牛馬1000頭あまりが流された。国分寺や寺などの塔が19施設で倒壊した。官人や個人宅は数えきれない被害を受けた。国から使者を派遣し、使者は斎宮の修理と諸国の被害状況の調査をする。
- 789 4.19 尾張・三河・美濃国が凶作。
- 796 7.19 尾張国で飢饉。
- 802 9. 3 尾張・三河など31か国が凶作。  
805 12. 7 天災のため、尾張国などが凶作。
- 836 3.20 尾張国で飢饉。  
837 3. 7 尾張国に水害。
- 843 6.25 尾張・三河など十八か国で飢饉。
- 854 2.15 尾張国、河川氾濫による水害。
- 865 12.27 尾張国の申し出により、広野河(木曾川)の河口を掘り、もとの流れに戻した。
- 866 4. 7 尾張国で飢饉。  
7. 9 尾張国が進めていた広野河河口の工事を美濃国各郡・厚見二郡の郡司らが妨害し、死傷者がでた。太政官は、郡司らを捕え死傷者数を報告するよう命じた。「広野河事件」  
7.20 広野河の工事をしばらく停止するよう、太政官が尾張国司に命じた。  
7.26 広野河の工事を妨害し人夫を殺害した郡司らを取り調べよう、太政官が美濃国司に命じた。
- 872 4.19 尾張国の昨年日照りの被害報告がある。
- 884 8.26 尾張国分寺が焼損したので、愛智郡の願興寺を国分寺にした。



埋文展キャラクター「鬼板さま」



埋蔵文化財 展示風景



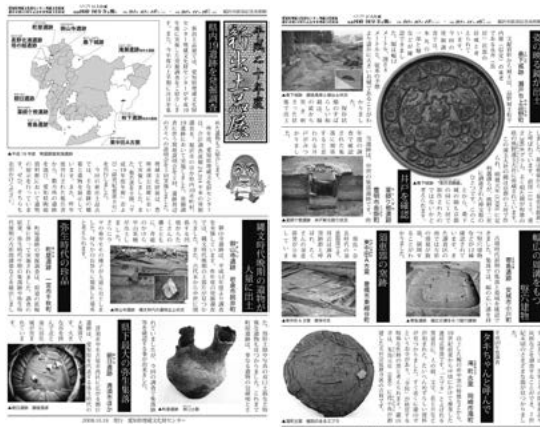
埋蔵文化財 展示風景



埋文ワークショップ



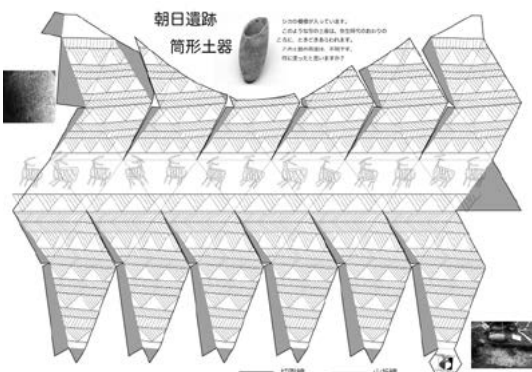
埋文ワークショップ



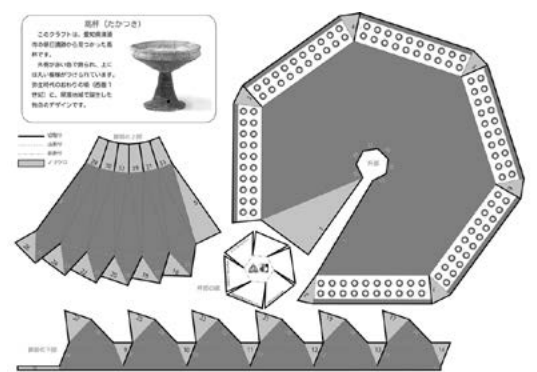
新出土品展 リーフレット



小学生の見学



ペーパクラフト



ペーパクラフト

